**絵本の読み聞かせ　　～児童の「主体的にコミュニケーションを図ろうとする姿」を目指して～**

コミュニケーションは，まず「聞くこと」から始まります。１冊の絵本を読み重ねることで，児童が話の内容を推測しながら聞こうとする姿や，声に出したり身振りや表情などを工夫したりして自分のことについて伝えようとする姿を育みましょう。『input→output』の流れを大切にしながら読み聞かせを行い，単元最終の活動で主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の姿を目指しましょう。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **目指す児童の姿** | **指導者の工夫** | **価値付けるポイント（例）** |
| **①** | テーブル, コンピュータ, 時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明**推測しながら** | 言葉だけの読み聞かせではなく，絵を指し示したり，身振りや表情，声の調子などを変化させたりすることで，児童が話の場面・状況を推測できるようにする。 | ・話の展開に対して反応している。  ・話の内容を推測しながらつぶやいている。 |
| **②** | 探す, 写真, モニター, 画面 が含まれている画像  自動的に生成された説明**声に出しながら** | 指導者があえて発話を控えて間をつくったり，次のページを少しずつ見せたりすることで，児童が次の展開を思い出しながら進んで声に出して表現できるようにする。 | ・間違いを恐れずに進んで声に出そうとしている。  ・英語表現をまねて言おうとしている。 |
| **③** | 白いバックグラウンドの前に座っている人形  低い精度で自動的に生成された説明**やり取りを楽しみながら** | 絵本の内容と関連付けて，児童が自分自身のことについて伝えられるようなやり取りを大切にする。その際，「指導者が質問して児童が答えるだけ」といった単調なやり取りの繰り返しにならないように，指導者自身のことについて伝えたり，児童に対して共感的な反応を示したりしながら，児童がやり取りを楽しむことができるようにする。 | ・指導者の問いかけに対して答えようとしている。  ・言葉だけでなく表情やジェスチャーなどを工夫  しながら伝えようとしている。 |

* １回目　①　→　２回目　①+②　→　３回目　①+②+③　といったように，読み重ねていくことで価値付けられる児童の姿も増えていきます。